

第2次小郡市食料・農業・農村基本計画（案）に係るパブリックコメント（意見募集）の結果報告

1. 意見募集期間
令和8年2月17日（火）から令和8年3月4日（水）まで
2. 実施方法
第2次小郡市食料・農業・農村基本計画（案）を市ホームページ、市役所（総合窓口・農業振興課）、総合保健福祉センター「あすてらす」生涯学習センター、各校区コミュニティセンターで閲覧可能とし、意見提出様式により意見募集を行いました。
3. 意見提出者数（意見数）
1名（4件）
4. 意見の概要及び意見に対する市の考え方

No.	施策名等	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	全体	全体的に整理され、見やすくわかりやすい計画となっていると思います。小郡市の状況がよくわかりました。食料・農業・農村の大切さを実感しています。多くの方がこの計画を読まれ、自分事としてとらえ、自分に何ができるかを考えるきっかけにもなればとも思います。	本計画（案）は、市民アンケートや市民ワークショップでのご意見を踏まえ、小郡市食料・農業・農村政策審議会において議論、検討し作成しています。計画を策定した後は、計画の実現に向けて取り組みを進めて参ります。
2	P18 (3)流通・消費 9行目～	市内には、その他にも地元野菜を販売しているところがあります。個人の販売所ではありますが、そのようなところが市内にあることを伝えることは大事であるとおもいます。	市内には計画書に掲載している直売所の他にも個人の直売所等があるため、次の通り修正します。 (修正前) ～生産者直売所「宝満の市」や農産物直売所「めぐみの里」の2カ所があります。また、スーパーの産直コーナーにおいても～ (修正後) ～生産者直売所「宝満の市」や農産物直売所「めぐみの里」のほか、個人の直売所等があり～ なお、市内の直売所については、地産マップを市HPに掲載しておりますが、令和3年11月に作成したものですので、今後、更新していきたいと考えています。
3	P36 1.基本理念 ①食料 1行目～ P42 (2)地産地消の推進現状と課題 1行目～	食料は、人間が生きていく上で欠かすことができない大事なものの・生命の維持に不可欠なものです。「健康で豊かな生活を支える」「生活に不可欠」よりも、もっと強調すべきではないかと思えます。食料に対する認識の低さが、農業に対する関心や農業振興に大きく影響しているとおもいます。	P36の「基本理念①食料」については、小郡市食料・農業・農村基本条例の第2条を記載していることから、原文のとおりとさせていただきます。なお、いただいたご意見については、今後、条例改正等を行う際の参考にさせていただきます。 P42の「現状と課題」については、小郡市食料・農業・農村基本条例の前文を踏まえ、次の通り修正します。 (修正前) 食料は生活に不可欠であり～ (修正後) 食料は私たちの生命の源であり～
4	P44 ①食と農をむすぶ取り組みの推進 1行目～	「日本型食生活の推進」とあります。確かに日本食は健康的であると言われており、私も実感しているところでありますが、大事なものは、「バランスのとれた食事」であり、あえて「日本型食生活」とすることに違和感があります。	ご意見を踏まえ、次の通り修正します。 (修正前) ～健康で豊かな食生活が実践できる日本型食生活を推進します。 (修正後) ～栄養バランスの取れた、健康で豊かな食生活を推進します。